

令和5年度 学校関係者評価書【◆委員意見】

評価項目	本年度の活動(具体的な手立て)と指標	学校自己評価(○:成果 ▲:改善点等)	学校関係者評価(委員記入欄)	今後の改善点
3 不登校対策	<p>1 長期欠席生徒の未然防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年, 保護者, 専門家, 関係機関との連携による未然防止 ・Sクラス(校内適応教室)を居場所とする見守りや早期対応 ・小学校との連携 <p>→学校アンケートによる検証及び, 長期欠席者の割合5.0%(18人)以下</p> <p>2 長期欠席生徒の社会的自立支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との信頼関係の構築 ・丁寧な進路相談の実施と, 情報提供 ・一人一台端末を活用した学習支援 <p>→進路結果の検証</p>	<p>○特別支援コーディネータを中心として, 気になる生徒の支援会議開催, SCや教育支援課との連携などを積極的に行うことができた。</p> <p>○11月末の長期欠席の割合は3.6%(13人)となっている。</p> <p>○Sクラス(校内適応教室)を活用する生徒中で, 3名の生徒が教室で授業を受ける頻度が多くなっている。</p> <p>○学期に1回, 校区小中学校の不登校担当者が情報共有等を行うことができた。</p> <p>◆事例研修等を積み重ねて教員の指導力や資質の向上を図る必要がある。</p>	<p>◆特別支援コーディネーターを中心として生徒の支援を実施され, その取り組みにより長期欠席の割合改善や, Sクラスの生徒の教室での授業を受ける頻度が多くなり喜ばしいことです。</p> <p>◆教員の指導力や資質の向上を図る必要があると案じられているならば, 一度, ユースメンタルサポートセンターMIE(YMSC-MIE)を利用し, 教員向けの研修会を開催してはどうでしょうか。生徒向け出前授業もあります。</p> <p>◆長期欠席になった生徒と担任, 学年の先生との関係性を築くことは簡単ではないと思うが, SLSなども利用して学校につながると良いと思う。</p> <p>◆不登校生徒の対応は様々な要因があり, 先生方の負担も大きいと思いますが, 親も子も一番頼りとする方ですので, 今後とも寄り添っていただきたい。Sクラスがあることで新入生も安心するのではないかと思います。</p> <p>◆地区では, 不登校について把握しにくい一面があります。日常的に交流が少なく面識不足も大きな要因となっています。PTA会員間でも活動不足になっているのではないのでしょうか。対策方法が暗中模索のように感じるものの, 具体的な対策に苦慮しています。</p> <p>◆先生方の細かいご指導・見守りのたまものだと思います。長期欠席の割合は少なくなり素晴らしいことですが, 数だけの問題ではない部分があります。</p> <p>◆不登校の子どもたちは, なかなか学校への一歩が踏み出せないようです。学校までは何とか来れたけど教室に入っていけない。毎日の少しずつの積み重ねですが, なんとか次のステップに進めるよう先生方にはお願いしたい。</p> <p>◆長期欠席の数は, 昨年度より減少しているのは評価できる。</p> <p>◆スクールカウンセラーや家庭訪問等である程度コミュニケーションが取れているようなので, 生徒が学校に来やすい環境をつくる努力を継続して, 相談等をお願いしたい。</p> <p>◆長期欠席の割合が3.6%と少なくなったのが良かった。SCや教育支援課との連携などができていて安心できる。</p> <p>◆生徒一人一人に対応できていると感じました。</p>	<p>◆事例研修などで教員が勉強などして, 指導力や生徒理解, 資質の向上ができるとうい。</p> <p>○特別支援教育の視点, 生徒理解の視点をもって寄り添い, 対応する。</p> <p>○保護者との連絡・相談を密にし, 信頼関係の構築をめざす。</p> <p>○支援部会では学年の枠を枠を越え, 支援の必要な生徒について協議する。(迅速な対応や実践につなげる支援部会とする)</p> <p>○関係機関や専門家(SCやSSW)を活用し, 効果的な支援会議を開催する。</p> <p>○Sクラスの機能を活かし, 学校への出席や授業参加へつなげる。</p>